

◆ “はなちどり” 開園1周年記念の講習会



昨年6月オープニングした園芸福祉庭園“はなちどり”の元気なところを広く市民に披露しようと、6月16日庭園隣の千鳥北公民館で、“ハーブを日常生活に”をテーマに講習会を開催しました。

久しぶりの中津誉子先生の講義は、予想をはるかに上回る参加者と、終了を1時間オーバーするほどの大盛況でした。参加者は緑の会及び会友、園芸福祉ふくおかの仲間、そして千鳥地域の福祉会等からも参加していただき、総勢47名でした。これで“は

なちどり”の市民に対する認識度も良好と思われませんが、予想を上回る参加者で、肝心の料理実習には、限られた人だけしか参加出来なかったのは、残念でした。

◆ 森づくり草刈着実に進める！

今年の夏の育林行動は緊急事態で中止となり、グリーンパークの植林地の草刈が残りました。緑の会では植樹したばかりの木を助けるために、草刈を中断することなく森づくりに努めようと、会員及び関係者に呼びかけ、草刈に取り組んでいるところです。

会では月例の森づくりの日を2回に増やし草刈を行う一方、常時有志による草刈にも取り組みました。その結果、19日現在、夏の育林行動予定面積の82%の草刈を完了しました。10万本ふるさとの森づくりの夢実現のため今後とも皆さんと共に頑張りたいと思っています。本年度夏の予定地完了も、もう少しです！！皆さんの一人でも多くの参加をお待ちしています。



◆ 青柳小ドングリ苗木鉢上げ

恒例の青柳小ドングリ苗木鉢上げ作業が、今年も6月5日、5・6年生の環境美化委員16人の子どもたちの手によって行われました。ドングリは、昨年秋に1年生が古賀グリーンパーク内で拾い、その後子どもたちの手によって育て、初夏に15cm程に育った小苗を今回苗ポットに植え替えたものです。先生や緑の会員のサポートを受けて、180本のドングリ苗が出来上がりました。苗木は2年後の春、植樹祭で古賀グリーンパーク内の「青柳小学校・ドングリの森」に植え、緑を増やし地球温暖化防止に貢献します。9名の緑の会員は、子どもたちと作業をしながら、子どもたちの元気を貰っていました。



◆ グリーンパークの花植替え

6月5日、青柳小の鉢上げ作業に先立ち、春に植えたパンジー等が絶え絶え状態になったグリーンパークの12個の大型花鉢の植替えを行いました。今年の少雨でかなり痛みが激しい状態でしたので、これからの高温と少雨に耐えてくれるように、“はなちどり”で育てたマツバギクを植えました。この花鉢は、グリーンパークの利用者たちに年間を通して癒しの空間を提供しております。



◆ 図書館前花壇の植替え

図書館駐車場前の花壇に花を植え始めて3年目になりますが、夏のこの時期には過去2回ともポーチュラカを植えました。メイン通りなので今年は違う花をと思いましたが、水やりなどのことを考えるとやっぱりポーチュラカになりました。後にはサルビアを植えました。5月26日“はなちどり”の作業日にみなさんで植えていただき、すでにポーチュラカはこの炎天下きれいな花を咲かせてます。ところが、サルビアはとっても水をほしがらる花のようで、水をやったときは元気なのですが、日中の日照りには参ってしまっぐったりしてしまいます。会員で当番を決めて水やりをしていますので、サルビアさんにぜひがんばってほしいと思っています。通りかかった時は“がんばれよ！”って声掛けしてください。

◆ 森づくり活動安全講習を受講

緑の会員3名は福岡県森林保全課が主催する「森づくり活動安全講習」を5月30日受講しました。講習会は「県立四王寺県民の森センター」で催され、10時30分から座学で「森林作業の安全、機械、道具の手入れ」を学びました。午後は現地で「機械、道具の手入れ」を実習体験し、その後「森林の保育作業（下刈、除伐）」を指導者のもとで実習し、安全作業を学びました。

3名は今後、会員に伝達し、古賀市10万本ふるさとの森づくり活動に生かすことにしています。

◆ みどり苑の花壇 衣替え



秋に植えたポピーやパンジー等の花が、賑やかに花壇を飾ってくれましたが、夏の暑さに参ってきましたので、6月23日ははなちどりの作業日に、場所を変えて、「みどり苑」の花壇の模様替えを行いました。今回は秋の空に映える真っ赤なサルビアとポーチュラカ等を植えました。いつも元気な施設長や、園芸福祉士の田中さん等施設4人に緑の11名の参加で、短時間で模様替えが終わりました。みどり苑の方、可愛がって楽しんでください。

会員の声

会活動参加に感謝

私は緑のまちづくりの会への入会動機と時期を思い出せない。きっかけは？第1回植樹祭は孫の初来日の記念植樹として参加し、その後は皆勤です。不確かですが古瀬さんが「会費を持って新町事務所に出てよ」それが始まりのようです。最初の植樹祭に参加したとき、企画力と行動力に感動し、青崎さんや宿理さんの豊富な知識に感服した印象は今でも鮮明に残っています。

CO2削減には以前から興味がありました。私は下手の横好きで魚釣りをしますが、海水温度の変動でしょうか、磯焼け、海草の減少や釣れる魚の時期、量、種類に変化が見られます。以前は花鶴川の河口で釣り餌さえ採取できました。カブトカニやシオマネキも沢山いました。最近では鮭が遡上するそうですが、色々な魚が遡上する豊富な水量の清流に少しでも近づいて欲しい期待もあります。

生まれ育ちは山奥ですが、木の名前や花の名前を知りません。それが最近では公園や山林で名札が気になりメモや写真を撮ります（記憶したかは別です）。ある時はコンビニで弁当を買い、山中のキャンプ地で食べるこの行動の変わり様は諸先輩の教育のお陰でしょう。

自慢できるのが“はなちどり”で購入した花の苗を地域に持ち帰り植えました。市販の苗と違い、安くて丈夫で花芽も多く長持ちする花に大変評判が良く私は鼻を高くしています。

楽しい仲間づくりをさせて頂いた古瀬さんはじめ、会員の皆さんに感謝しています。

大塚 絃 一